

.....

◆ 資料編

.....

# 1 策定経緯

## ■令和3年度

年月日	会議等	内容
令和3年 7月20日	第1回 小美玉市教育振興基本計画等策定委員会	・策定方針について ・全体スケジュールについて ・アンケートの概要について
11月15日	第1回 小美玉市スポーツ推進審議会	・諮問
11月29日 ～12月17日	「小美玉市スポーツ推進計画」に係る Web アンケート調査（児童生徒）	アンケート調査の実施 ・市内小・中・義務教育学校の児童生徒 (小学5年生、中学2年生(義務教育学校8年生))
12月1日 ～12月17日	「小美玉市生涯学習推進計画」及び 「小美玉市スポーツ推進計画」に係る アンケート調査（一般）	アンケート調査の実施 ・市内居住している18歳以上の市民(1,500人)
令和4年 2月8日	第2回 小美玉市教育振興基本計画等策定委員会	・小美玉市の教育を取り巻く概況 ・市民意向の動向把握

## ■令和4年度

年月日	会議等	内容
令和4年 4月22日	第1回 小美玉市スポーツ推進審議会	・スポーツ推進計画について（アンケート調査報告、団体ヒアリング実施について）
5月11日 ～5月25日	新規施策調査	担当課への調査の実施 ・新規施策の確認
5月20日	団体ヒアリング	社会体育・スポーツ関係団体ヒアリングの実施 ・コロナ禍における活動状況について ・今後のスポーツの取組について ・ライフステージごとのスポーツ活動や障がい者スポーツについて
7月19日	第3回 小美玉市教育振興基本計画等策定委員会	・小美玉市教育振興基本計画（案） ・小美玉市生涯学習推進計画（案） ・小美玉市スポーツ推進計画（案）
10月26日	第2回 小美玉市スポーツ推進審議会	・スポーツ推進計画改定について
11月1日	第4回 小美玉市教育振興基本計画等策定委員会	・小美玉市教育振興基本計画（素案） ・小美玉市生涯学習推進計画（素案） ・小美玉市スポーツ推進計画（素案）
12月1日	市議会全員協議会	・小美玉市スポーツ推進計画（改定案） ・パブリックコメントの実施について

年月日	会議等	内容
12月16日 ～令和5年 1月16日	パブリックコメント	・小美玉市スポーツ推進計画（改定案） ご意見0件
2月6日 ⇒書面開催	第5回 小美玉市教育振興基本計画等策定委員会 書面による開催	・パブリックコメント結果報告 ・小美玉市教育振興基本計画（改定版）（最終案） ・小美玉市生涯学習推進計画（改定版）（最終案） ・小美玉市スポーツ推進計画（改定版）（最終案）
2月17日	第3回 小美玉市スポーツ推進審議会	・パブリックコメント結果報告 ・小美玉市スポーツ推進計画（改定版）（最終案） ・答申（案）
2月24日	答申	・小美玉市スポーツ推進計画（改定版）答申
2月28日	市議会全員協議会	・小美玉市スポーツ推進計画（改定版）及び パブリックコメント結果報告



▲答申

## 2 小美玉市スポーツ推進審議会

### (1) 小美玉市スポーツ推進審議会条例

平成 23 年 12 月 27 日  
条例第 32 号

小美玉市スポーツ振興審議会条例(平成 18 年小美玉市条例第 86 号)の全部を改正する。

(設置)

第 1 条 スポーツ基本法(平成 23 年法律第 78 号。以下「法」という。)第 31 条の規定に基づき、小美玉市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 審議会は、次に掲げるスポーツ推進に関する重要事項について教育委員会の諮問に応じ調査審議し、及びこれらの事項に関し教育委員会に建議する。

- (1) 法第 10 条第 1 項に規定するスポーツの推進計画に関すること。
- (2) スポーツの施設及び設備の整備に関すること。
- (3) スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- (4) スポーツの事業の実施及び奨励に関すること。
- (5) スポーツ関係団体の育成に関すること。
- (6) スポーツの技術水準の向上に関すること。
- (7) スポーツによる事故の防止に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(組織)

第 3 条 審議会は、委員 15 人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。

- (1) 学識経験のある者
- (2) 小・中学校の代表者
- (3) 議会代表者
- (4) スポーツ関係団体の代表者

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任することができる。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 審議会に委員長 1 人及び副委員長 1 人を置く。

2 委員長及び副委員長は、委員の互選により選任する。

3 委員長は、審議会を代表し、議事その他の会務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

5 委員長及び副委員長の任期は、2 年とする。

(会議)

第 6 条 審議会は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

2 審議会は、必要の都度開く。

3 審議会は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。

4 審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(報酬及び費用弁償)

第7条 委員の報酬及び費用弁償は、別に定めるところによる。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、スポーツ主管課において行う。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行し、改正後の小美玉市スポーツ推進審議会条例は平成 23 年 8 月 24 日から適用する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現にこの条例による改正前の小美玉市スポーツ振興審議会条例第 2 条の規定により任命された小美玉市スポーツ振興審議会(以下「旧審議会」という。)の委員である者は、この条例の第 3 条第 2 項の規定により任命されたものとみなす。この場合において、その任命されたものとみなされる者の任期は、第 4 条第 1 項の規定にかかわらず、旧審議会の委員としての残任期間と同一の期間とする。

3 この条例の施行の際現に旧審議会の委員長又は副委員長に選任された者は、それぞれ、この条例の第 5 条第 2 項の規定により審議会の委員長又は副委員長として選任されたものとみなす。

附 則(平成 30 年条例第 33 号)抄

(施行期日)

1 この条例は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 2 年条例第 3 号)抄

(施行期日)

1 この条例は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際、第 6 条、第 11 条、第 13 条、第 21 条及び第 22 条の規定による改正前のそれぞれの条例に基づき委嘱を受け、現にその職にある委員(以下「旧委員」という。)については、この条例による改正後のそれぞれの条例に基づき委嘱されたものとみなす。この場合において、旧委員の任期は当該委員が委嘱を受けた際の任期までとする。

附 則(令和 2 年条例第 24 号)抄

(施行期日)

1 この条例は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

附 則(令和 3 年条例第 15 号)

この条例は、公布の日から施行する。

## (2) 小美玉市スポーツ推進審議会委員名簿

No.	氏 名	第 3 条 区 分	役職・所属等	備 考
1	鶴 町 和 夫	(1)	元小美玉市副市長 元スポーツ協会副会長	委員長
2	山 口 芳 夫	(1)	元スポーツ推進委員長 元スポーツ協会会長	令和3年度 副委員長
	白 井 福 夫	(1)	小美玉市ソフトボール連盟副会長	令和4年度 副委員長
3	赤 羽 英 夫	(1)	県スポーツ少年団上級リーダー指導委員 元県青少年健全育成審議会委員	
4	本 田 理	(1)	本田記念財団理事長	
5	日 高 英 詞	(1)	元指導者（野球）	令和3年度
	井 坂 真 理 子	(1)	小美玉市女性活躍プロジェクト	令和4年度
6	松 下 潤	(1)	小美玉スポーツクラブマネージャー	
7	稲 田 雅 志	(2)	市校長会会長	令和3年度
	皆 川 修	(2)	市校長会会長	令和4年度
8	高 野 裕 一	(2)	市教頭会会長	令和3年度
	箱 田 俊 男	(2)	市教頭会会長	令和4年度
9	村 田 春 樹	(3)	議会代表	
10	小 林 義 治	(4)	市スポーツ協会代表	
11	額 賀 茂 樹	(4)	市スポーツ少年団代表	
12	青 木 陽 平	(4)	市スポーツ推進委員代表	

敬称略

### 3 小美玉市教育振興基本計画等策定委員会

#### (1) 小美玉市教育振興基本計画等策定委員会設置要綱

平成28年6月30日

教育委員会訓令第4号

改正 平成29年5月11日教委訓令第2号

令和3年3月26日教委訓令第2号

令和3年6月24日教委訓令第6号

(設置)

第1条 小美玉市教育振興基本計画及び小美玉市生涯学習推進計画並びに小美玉市スポーツ推進計画(以下「教育振興基本計画等」という。)の策定について必要な事項を調整・協議するため、小美玉市教育振興基本計画等策定委員会(以下「策定委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 策定委員会の所掌事務は次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 教育振興基本計画等策定に係る調査等に関し評価検討すること。
- (2) 教育振興基本計画等策定に係る資料に関し助言すること。
- (3) その他目的達成のため必要な事項に関すること。

(組織)

第3条 策定委員会は、別表第1に掲げる者をもって組織する。

(運営)

第4条 策定委員会に委員長を置く。

2 委員長は、教育長をもって充て、委員会の会務を総理する。

(会議等)

第5条 策定委員会の会議は、委員長が招集し、その座長となる。

2 委員会において必要があると認められるときは、委員以外の者の職員の出席を求め、その意見を聞くことができる。

(ワーキング会議)

第6条 教育振興基本計画等の策定に必要な調査・研究を行い、計画原案を作成するためワーキング会議を置く。

2 ワーキング会議は、別表第2に掲げる課等の職員をもって組織する。

3 ワーキング会議に会長を置き、会長は教育企画課長をもって充てる。

(アドバイザー)

第7条 計画原案の作成にあたって、専門的な見地から意見及び助言を得るため学術経験者等をアドバイザーとして招くことができる。

2 アドバイザーには、予算の範囲内において謝礼金を支払うものとする。

(事務局)

第8条 策定委員会及びワーキング会議の庶務は、教育委員会教育企画課において行う。

(その他)

第9条 この訓令に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この訓令は、平成28年7月1日から施行する。
- 2 この訓令は、策定委員会の所掌事務が終了した段階でその効力を失う。

附 則(平成29年教委訓令第2号)

この訓令は、平成29年5月18日より施行する。

附 則(令和3年教委訓令第2号)

この訓令は、令和3年4月1日より施行する。

附 則(令和3年教委訓令第6号)

この訓令は、令和3年7月1日より施行する。

別表第1(第3条関係)

(1) 教育長
(2) 市長公室長
(3) 企画財政部長
(4) 総務部長
(5) 保健衛生部長
(6) 福祉部長
(7) 教育部長
(8) 文化スポーツ振興部長

別表第2(第6条関係)

(1) 企画調整課
(2) 健康増進課
(3) 子ども課
(4) 社会福祉課
(5) 介護福祉課
(6) 教育指導課
(7) 教育企画課
(8) 生涯学習課
(9) スポーツ推進課
(10) 幼稚園
(11) 小学校
(12) 中学校
(13) 義務教育学校
(14) 生活文化課



## 4 諮問書

---

小美玉スポ推第 312 号  
令和 3 年 11 月 15 日

スポーツ推進審議会  
委員長 鶴町 和夫 様

小美玉市長 島田 穰一

### スポーツ推進計画の改定について

小美玉市スポーツ推進計画について改定したいので、スポーツ基本法（平成 23 年 6 月 24 日法律第 78 号）第 10 条の規定及び、小美玉市スポーツ推進審議会条例（平成 23 年 12 月 27 日条例第 32 号）第 2 条の規定により諮問します。

## 5 答申書

---

令和 5 年 2 月 24 日

小美玉市長  
島田 幸三 様

小美玉市スポーツ推進審議会  
委員長 鶴町 和夫

### 小美玉市スポーツ推進計画の改定について（答申）

スポーツ基本法（平成 23 年 6 月 24 日法律第 78 号）第 10 条の規定及び、小美玉市スポーツ推進審議会条例（平成 23 年 12 月 27 日条例第 32 号）第 2 条の規定により、令和 3 年 11 月 15 日に諮問のあった、「小美玉市スポーツ推進計画の改定」について、本審議会において調査・審議を行った結果、別添のとおり、答申します。

なお、計画の推進にあたっては、市民のスポーツ活動の現状や人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響など、スポーツを取り巻く様々な状況に柔軟に対応しながら、着実な進行管理に努めるとともに、小美玉市が目指す「スポーツで創ろう 元気なまち」の実現に取り組まれるよう要望します。

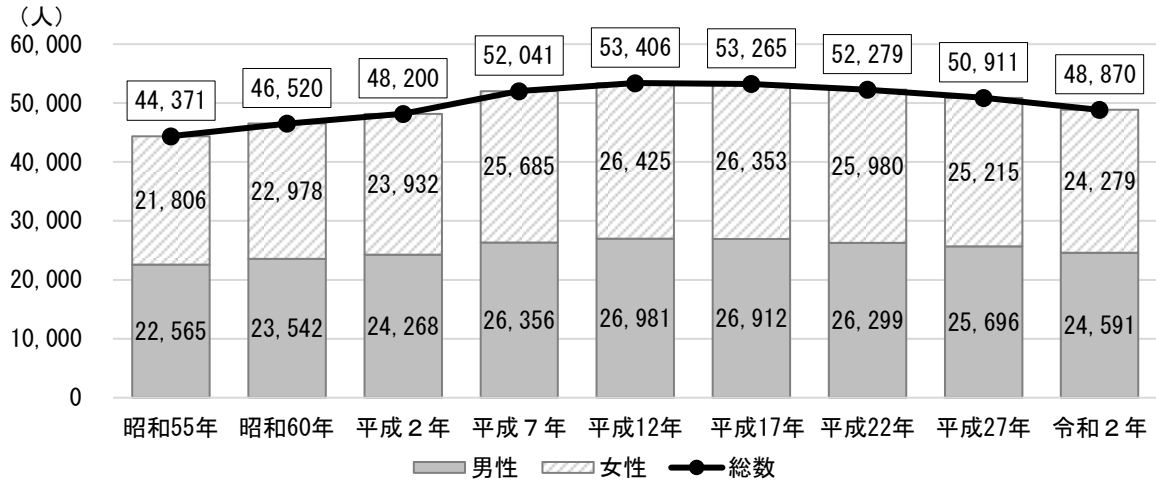
## 6 資料集

### (1) 小美玉市の概況

#### 1) 人口

本市の人口は昭和55年以降増加していましたが、平成12年の53,406人をピークに減少傾向となっており、令和2年では48,870人となっています。

#### ■小美玉市の人口の推移

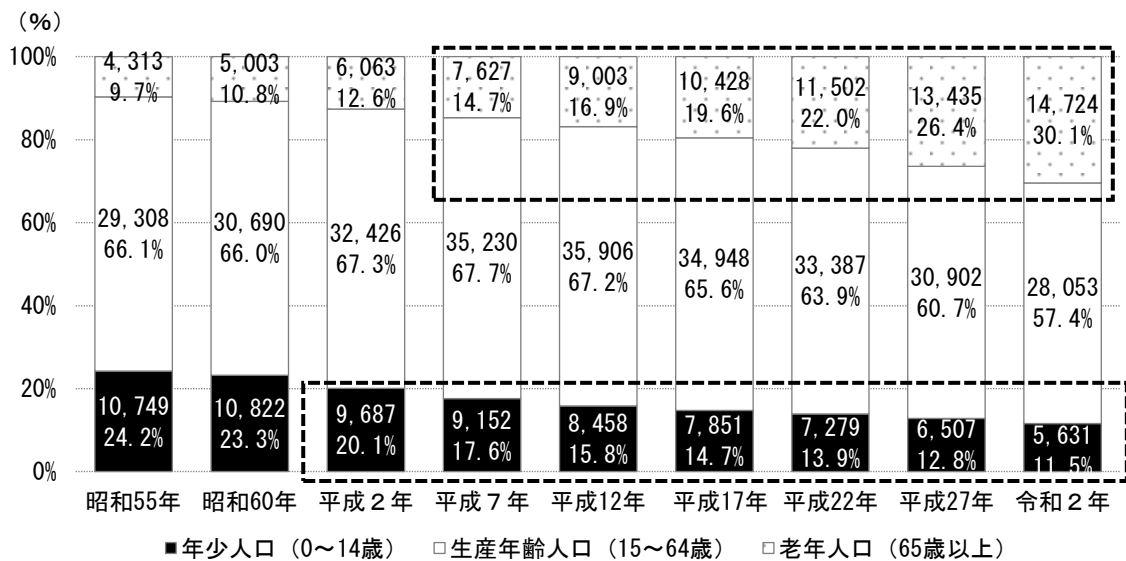


出典：国勢調査(総務省統計局)

#### 2) 年齢区分別人口比率

年齢区分別の人口比率では、年少人口(0～14歳)の比率は平成2年に大きく減少して以降、減少傾向が続いており、令和2年では11.5%と昭和60年の約半数となっています。老年人口(65歳以上)の比率は継続的に増加しており、平成7年以降大きく増加し、令和2年では30.1%となっています。

#### ■年齢3区分別の人口比率の推移



※年齢不詳は除く。小数点第2位で四捨五入しているため、合計は100%にならないものがある。

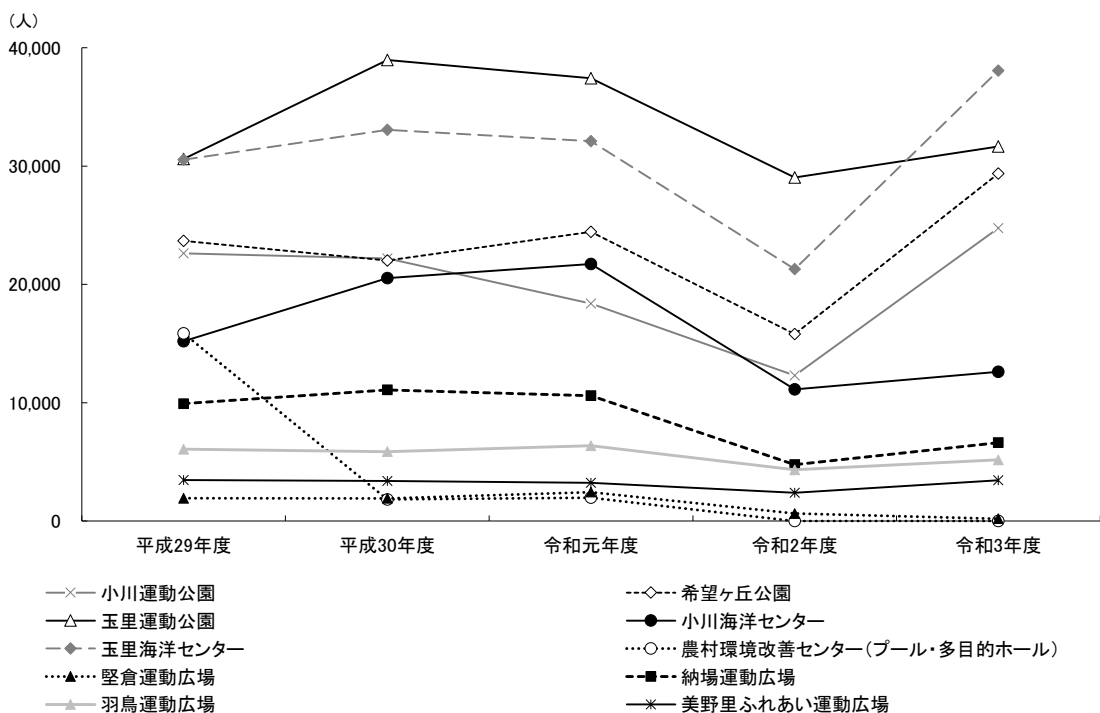
出典：国勢調査(総務省統計局)

## (2) スポーツ施設の状況

### 1) スポーツ施設の利用者数の推移

- ・過去5年間の利用者数の合計を見ると、玉里運動公園が167,689人と最も多く、次いで、玉里海洋センターが155,087人、希望ヶ丘公園115,329人、小川運動公園100,252人となっています。
- ・平成29年度から令和元年度の利用者数を見ると、希望ヶ丘公園と小川海洋センターでは平成30年度から大きく増加し、農村改善センターはプール閉鎖の影響により大幅に減少しています。
- ・令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ施設の使用を年間の約2割程度制限したため、利用者数が大きく減少しましたが、令和3年度には増加傾向となっています。
- ・令和3年度の利用増減率をみると、コロナ影響前の平成29～30年度の平均利用者数と比較して、全体では5.3%減少していますが、小川運動公園、希望ヶ丘公園、玉里海洋センター、美野里ふれあい運動広場では利用が増加しています。

#### ■スポーツ施設別利用者数の推移



(単位：人、%)

施設名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(A)	過去5年合計	平成29-30年度平均(B)	令和3年度増減率(B・A比較)
小川運動公園	22,620人	22,198人	18,376人	12,304人	24,754人	100,252	22,409	10.5%
希望ヶ丘公園	23,686人	22,014人	24,444人	15,807人	29,378人	115,329	22,850	28.6%
玉里運動公園	30,608人	38,970人	37,424人	29,031人	31,656人	167,689	34,789	▲9.0%
小川海洋センター	15,202人	20,540人	21,722人	11,121人	12,621人	81,206	17,871	▲29.4%
玉里海洋センター	30,541人	33,071人	32,109人	21,293人	38,073人	155,087	31,806	19.7%
農村環境改善センター(プール、多目的ホール※)	15,865人	1,831人	1,973人	-	-	19,669	8,848	-
堅倉運動広場	1,929人	1,913人	2,440人	632人	195人	7,109	1,921	▲89.8%
納場運動広場	9,925人	11,081人	10,595人	4,772人	6,623人	42,996	10,503	▲36.9%
羽鳥運動広場	6,072人	5,865人	6,363人	4,328人	5,174人	27,802	5,969	▲13.3%
美野里ふれあい運動広場	3,473人	3,378人	3,228人	2,395人	3,450人	15,924	3,426	0.7%
合計	159,921	160,861	158,674	101,683	151,924	733,063	160,391	▲5.3%

※▲は負の数値 農村環境改善センターのプールは、施設の老朽化に伴い、令和元年度より閉鎖。また、多目的ホールは令和2年度より所管が生涯学習課に移行された。  
資料：スポーツ推進課

### (3) スポーツ施設の概要

本市のスポーツ施設は、様々な施設を有する運動公園や、プール施設、野球場がある運動広場や多目的に利用できる運動広場などがあります。

#### ■スポーツ施設の内容

施設名	施設の内容
小川運動公園	野球場、テニスコート、体育館、多目的広場
希望ヶ丘公園	野球場、テニスコート、多目的広場、バーベキュー広場、弓道場、ヘルスロード
玉里運動公園	野球場、少年野球場、テニスコート、多目的広場、ウォーキングロード、子ども広場
小川海洋センター	プール（温水）
玉里海洋センター	体育館、トレーニングルーム、ミーティングルーム、プール、艇庫（ヨット・カヌー）
希望ヶ丘少年スポーツ広場	多目的広場
堅倉運動広場	多目的広場
納場運動広場	野球場
羽鳥運動広場	野球場
美野里ふれあい運動広場	多目的広場
中根球場	野球場
野田球場	野球場
下吉影薬師台球場	多目的広場
旧小川小学校体育館	体育館、グラウンド
たちばな広場体育館（仮称） （旧橘小学校体育館）	体育館

※旧小川小学校体育館については、「旧小川小跡地周辺地域再整備基本計画」により解体予定。

資料：スポーツ推進課

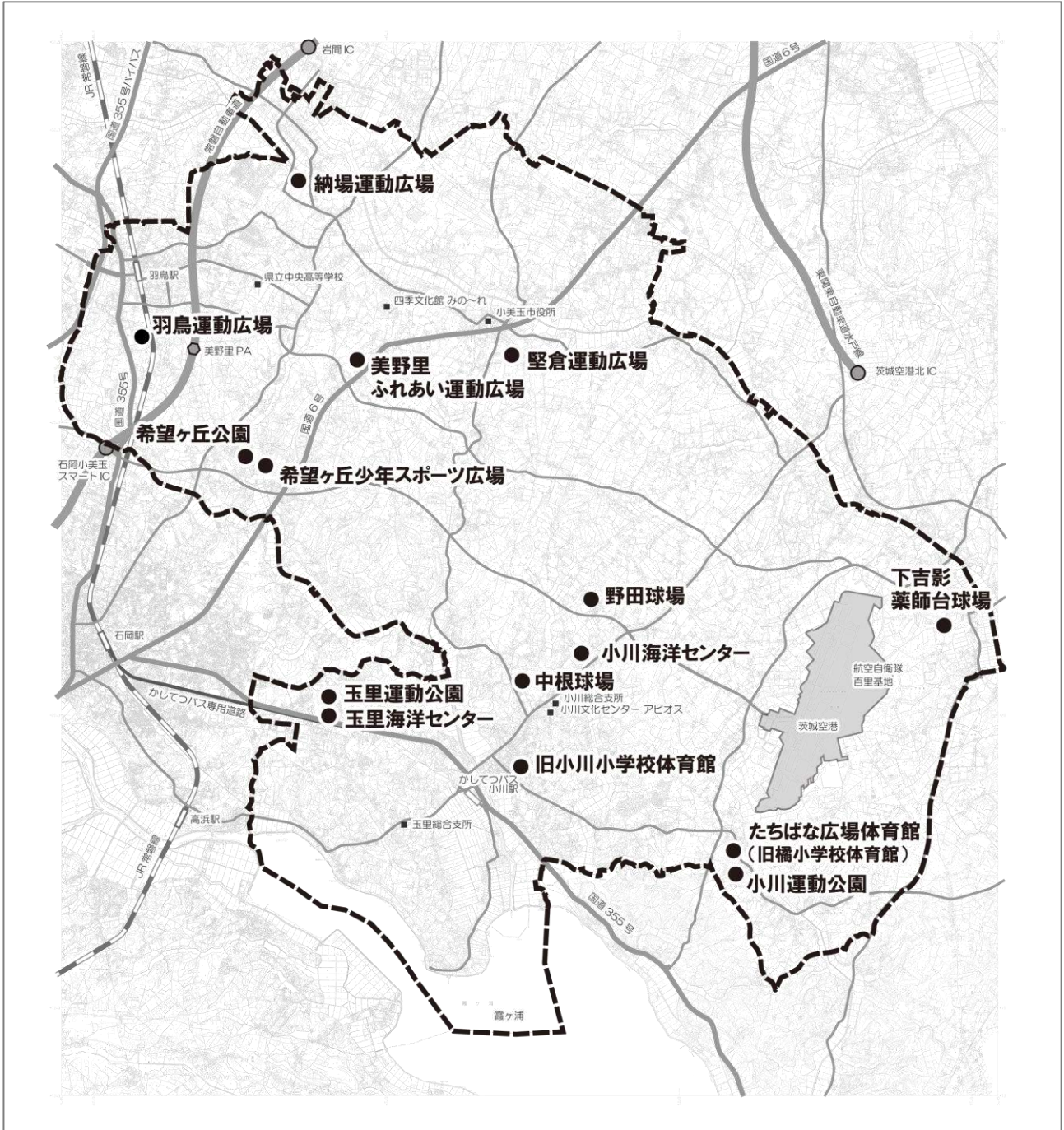


▲玉里運動公園（野球場）



▲玉里運動公園（テニスコート）

■スポーツ施設等位置図



▲小川運動公園



▲希望ヶ丘公園

#### (4) スポーツイベント・教室等の実施状況

- ・市主催のスポーツ・レクリエーションにおいては、小美玉スポレクデーの参加者が年々増加傾向にありましたが、令和元年度には台風のため、令和2年度、3年度には新型コロナウイルス感染症の影響で実施されていない状況です。
- ・スポーツ大会については、少年スポーツ大会で野球やサッカーなどの種目を開催しており、令和元年度までは各大会において参加団体数が維持されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、令和3年度に開催された大会は3つとなり、参加団体数も減少しています。
- ・スポーツ教室・講習会については、イベントや大会と同様に新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、未実施が続いており、令和3年度では水泳教室（2種類）、スポーツ協会主催のターゲットバードゴルフ教室のみと開催となりました。参加者数については小川海洋センターの水泳教室では減少しましたが、玉里海洋センターでは微減で概ね維持されています。

##### ■市主催スポーツ・レクリエーション参加者数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
小美玉スポレクデー（延べ）	4,592 人	5,596 人	台風のため 中止	-	-
新春歩く会	350 人	350 人	265 人	-	-
市民駅伝大会（※チーム数）	141 チーム	131 チーム	149 チーム	-	-

資料：スポーツ推進課

##### ■少年スポーツ大会参加団体数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
市長杯少年サッカー大会	32 団体	32 団体	32 団体	-	16 団体
小美玉市近郊中学校軟式野球大会	11 団体	11 団体	-	-	-
小美玉市近郊少年軟式野球大会	24 団体	24 団体	24 団体	9 団体	12 団体
小美玉市選抜剣道大会	69 団体	-	-	-	-
市長杯ミニバスケットボール大会	24 団体	24 団体	24 団体	24 団体	16 団体
市長杯サッカー大会（中学生）	18 団体	18 団体	18 団体	-	-
けやきカップ（ミニバスケットボール）	24 団体	24 団体	24 団体	-	-

資料：スポーツ推進課

##### ■スポーツ推進委員主催によるスポーツイベント参加者数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
ニュースポーツ大会	118 人	166 人	104 人	-	-

資料：スポーツ推進課

##### ■スポーツ協会主催によるスポーツ大会（後援事業）参加者数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
市民ゴルフ大会	162 人	158 人	158 人	-	-

資料：スポーツ推進課

### ■スポーツ教室・講習会参加者数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
水泳教室（小川海洋センター）	276 人	217 人	-	-	185 人
水泳教室（玉里海洋センター）	102 人	-	-	-	101 人
ヨガ教室	26 人	15 人	-	-	-
ノルディックウォーキング	-	6 人	-	-	-
アクアズンバ教室	16 人	-	-	-	-
野球教室	36 人	65 人	-	-	-
親子ウィンタースポーツ教室	59 人	65 人	68 人	-	-
体力測定	-	-	-	-	-
親子スケート教室	32 人	-	-	-	-

資料：スポーツ推進課

### ■スポーツ協会主催の教室への参加者数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
ソフトテニス教室	20 人	27 人	28 人	-	-
ターゲットバードゴルフ教室	10 人	9 人	-	4 人	6 人

資料：スポーツ推進課



▲小美玉スポレクデー（モルック）



▲小美玉スポレクデー（弓道体験教室）

## (5) 児童生徒の体力の状況

Tスコア（県平均値を50としたときの、各学校平均値の偏差値）による、市内児童生徒の各学年平均値の平成21年度と令和元年度の値を比較して見ると、小学1～3年生、中学2～3年生は、男女ともに総合点が上がっています。また、小学6年生は男女ともに総合点が下がっていますが、中学1年生ではほぼ横ばいとなっています。

総合点においては本計画策定時に調査した平成28年も含めてみると、小学1年生、5年生、中学1～3年生でスコアが上がり続けています。

令和元年度の総合点については、県平均（50）を上回っているものが多く、下回っているものもありますが、全て49点台とほぼ県平均に近い数値となっています。

なお、令和3年度からは算出方法が変更されています。

### ■平成21年度・令和元年度の体力テストのTスコア（総合点はH28も記載）

		総合点				握力			上体起こし			長座体前屈			反復横飛び		
		H21	H28	R1	比較	H21	R1	比較	H21	R1	比較	H21	R1	比較	H21	R1	比較
小学1学年	男子	49.7	45.8	51.8	2.1	48.6	49.5	0.9	50.5	51.4	0.9	47.6	50.1	2.5	51.8	53.0	1.2
	女子	49.1	50.5	50.9	1.8	48.9	49.1	0.2	49.4	50.4	1.0	48.3	48.6	0.3	51.0	53.5	2.5
小学2学年	男子	51.1	49.5	51.3	0.2	47.7	49.3	1.6	50.9	50.8	▲0.1	51.6	49.4	▲2.2	52.0	51.9	▲0.1
	女子	51.0	51.0	51.2	0.2	49.5	49.4	▲0.1	50.3	50.9	0.6	50.4	50.1	▲0.3	52.1	51.7	▲0.4
小学3学年	男子	51.0	49.8	52.4	1.4	48.7	51.3	2.6	48.6	51.1	2.5	55.0	48.7	▲6.3	51.9	54.6	2.7
	女子	51.6	50.6	52.2	0.6	48.7	51.4	2.7	50.9	51.6	0.7	56.1	47.8	▲8.3	51.6	53.1	1.5
小学4学年	男子	49.5	51.5	50.5	1.0	48.1	50.3	2.2	49.0	49.3	0.3	49.4	50.0	0.6	49.7	50.1	0.4
	女子	52.4	51.4	49.8	▲2.6	49.0	49.0	0.0	52.2	48.5	▲3.7	52.2	49.9	▲2.3	50.2	51.0	0.8
小学5学年	男子	50.0	50.8	49.6	▲0.4	48.3	49.7	1.4	50.4	49.1	▲1.3	50.5	46.4	▲4.1	49.4	50.4	1.0
	女子	49.1	51.0	52.1	3.0	49.0	50.2	1.2	50.5	51.2	0.7	52.3	50.0	▲2.3	48.6	50.6	2.0
小学6学年	男子	52.4	48.5	50.2	▲2.2	49.8	50.4	0.6	51.8	49.9	▲1.9	52.3	47.5	▲4.8	52.5	50.3	▲2.2
	女子	51.8	51.3	49.7	▲2.1	48.6	48.6	0.0	52.6	48.9	▲3.7	52.0	46.9	▲5.1	51.8	49.5	▲2.3
中学1学年	男子	50.4	50.8	49.4	▲1.0	48.3	50.0	1.7	49.9	49.8	▲0.1	50.2	46.7	▲3.5	51.0	49.7	▲1.3
	女子	50.5	51.4	52.1	1.6	48.0	51.9	3.9	49.7	52.1	2.4	51.7	48.7	▲3.0	51.4	51.0	▲0.4
中学2学年	男子	48.0	48.0	49.3	1.3	47.4	49.7	2.3	48.2	50.1	1.9	49.6	46.3	▲3.3	49.1	49.3	0.2
	女子	49.1	50.2	50.3	1.2	48.1	48.8	0.7	47.8	50.5	2.7	49.0	47.1	▲1.9	48.9	49.8	0.9
中学3学年	男子	47.6	48.1	49.7	2.1	48.0	49.6	1.6	48.9	50.0	1.1	45.6	47.1	1.5	47.8	49.3	1.5
	女子	47.1	49.4	51.3	4.2	46.7	49.8	3.1	46.9	49.7	2.8	47.4	47.6	0.2	46.4	50.5	4.1

		シャトルラン			50m走			立ち幅跳び			ボール投げ		
		H21	R1	比較	H21	R1	比較	H21	R1	比較	H21	R1	比較
小学1学年	男子	53.1	52.2	▲0.9	48.9	50.6	1.7	49.0	50.7	1.7	49.1	50.8	1.7
	女子	52.2	51.4	▲0.8	47.5	50.9	3.4	49.3	50.5	1.2	49.6	50.5	0.9
小学2学年	男子	51.2	52.3	1.1	48.6	50.7	2.1	51.6	50.6	▲1.0	50.1	50.9	0.8
	女子	51.6	51.6	0.0	49.0	51.0	2.0	51.3	49.8	▲1.5	50.0	50.9	0.9
小学3学年	男子	52.5	53.6	1.1	48.1	50.2	2.1	50.2	51.6	1.4	49.7	51.9	2.2
	女子	51.9	55.2	3.3	48.3	50.7	2.4	51.6	51.4	▲0.2	49.0	52.4	3.4
小学4学年	男子	50.8	51.0	0.2	50.6	49.6	▲1.0	49.7	51.2	1.5	49.4	50.5	1.1
	女子	52.8	51.2	▲1.6	52.7	48.5	▲4.2	52.0	50.1	▲1.9	50.5	49.1	▲1.4
小学5学年	男子	50.8	52.0	1.2	49.0	50.4	1.4	50.1	48.1	▲2.0	49.7	51.1	1.4
	女子	48.6	53.7	5.1	47.7	52.1	4.4	48.8	49.6	0.8	49.0	51.9	2.9
小学6学年	男子	52.4	49.9	▲2.5	51.7	51.0	▲0.7	50.3	50.0	▲0.3	52.0	51.9	▲0.1
	女子	53.8	50.1	▲3.7	51.2	50.6	▲0.6	50.2	50.6	0.4	49.6	50.9	1.3
中学1学年	男子	51.5	50.7	▲0.8	50.8	49.6	▲1.2	50.8	50.6	▲0.2	49.9	51.7	1.8
	女子	52.5	53.4	0.9	50.1	51.1	1.0	51.0	51.0	▲0.0	48.4	53.2	4.8
中学2学年	男子	49.6	50.0	0.4	47.6	50.1	2.5	50.1	50.2	0.1	48.5	51.1	2.6
	女子	50.3	51.9	1.6	48.0	52.4	4.4	51.3	50.9	▲0.4	51.1	50.2	▲0.9
中学3学年	男子	50.0	52.5	2.5	49.1	50.3	1.2	49.1	49.5	0.4	48.1	50.2	2.1
	女子	49.8	52.1	2.3	49.0	51.9	2.9	49.0	51.3	2.3	49.1	52.7	3.6

※表について：

- ・Tスコアは、表記上、小数点第1位までとしているため、差の計算結果が合わない場合があります。
- ・総合点の比較はH21とR1の比較。
- ・▲は負の数値。

※R2はコロナにより中止のため値不明。

出典：茨城県教育委員会「茨城県児童生徒の体力・運動能力調査」



## (6) NPO団体の状況

### 1) NPO団体の取組について

本市には、総合型地域スポーツクラブ「NPO法人小美玉スポーツクラブ」があります。本法人はスポーツを通して小美玉市を元気にすることを目指し、平成24年10月に設立されました。すべての市民に対してスポーツ全般の普及・発展を図り、スポーツ種目の枠を越えた交流を行い、また、本市のスポーツ環境を整備する総合型地域スポーツクラブとして、スポーツを中心とした地域のネットワークの活性化と青少年の健全な育成を図ることを目的としています。

#### ①主な事業内容

- ・子どもを対象とした、走る・跳ぶ・ボール運動・体操など様々なスポーツに触れることでスポーツの楽しさやルールを学び、総合的な運動能力の向上を図るプレ・すぽ〜つ教室やサッカー、野球等の教室を開催しています。
- ・成人を対象とした、はじめてのヨガ教室や、不定期でバレエ・ピラティス・健康体操などの教室を開催しています。
- ・ボルダリング・カヌー・登山などのスポーツイベントを開催しています。
- ・市内で開催される各種スポーツ大会やイベントなど本市のスポーツに関する情報を掲載した「小美玉スポーツ新聞りんく」を発行しています。
- ・全国から女子中学生を募集する全寮制の小美玉フットボールアカデミーを運営しており、令和4年度では第10期生が入校しています。茨城県女子(U-15)サッカー選手権では優勝し、関東大会予選へと出場しています。

#### ■実施事業（令和元年度報告）

事業名	具体的な内容
スポーツ普及強化育成事業	各種スポーツ教室の開催（ヨガ、バレエ、プレ・すぽ〜つ、女子サッカー、男子サッカー、野球等） 小美玉フットボールアカデミー（全寮制女子中学サッカーアカデミー）
スポーツ環境整備事業	施設管理受付業務 植栽維持管理業務 指定管理業務
スポーツ大会・イベントの運営・協力事業	スポーツ大会・イベントの企画、運営（ボルダリング、登山、放課後子どもプラン、親子レク、ヨガ、カヌー等）
スポーツに関する研究事業	小美玉市近隣のスポーツ活動の調査
スポーツに関する情報ネットワーク活性化事業	ホームページの開設 スポーツ情報誌の発行（小美玉スポーツ新聞りんく）

資料：内閣府NPOホームページ

#### ②定期教室・イベントの実施

- ・定期教室は平成24年度から実施されており、主な活動場所は、玉里海洋センター、小川運動公園、農村環境改善センター、竹原小学校体育館、四季文化館（みの〜れ）などとなっています。
- ・定期教室数の推移を見ると、平成29年度から令和3年度にかけて教室数は増加しましたが、令和元年度まで増加傾向にあった参加者数は令和2年度3年度と大幅に減少しました。令和3年度には9教室で244人の参加者となっています。
- ・イベントは平成26年度から実施しており、令和元年度には7イベント（計16回）実施しましたが、令和2年度、3年度は実施しませんでした。

## ■定期教室数の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
教室数	7 教室	7 教室	9 教室	9 教室	9 教室
参加者数	296 人	321 人	698 人	397 人	244 人

※教室人数は各年度3月末。月によって人数の変動あり。  
資料:小美玉スポーツクラブ

## ■令和 3 年度 定期教室実施状

教室名	実施曜日	参加者数	年間参加者数(延べ)	
バレエ教室	金	8 人	11 人	
ヨガ教室	木	12 人	152 人	
プレ・すぼ〜つ教室	火	8 人	2,963 人	
	水	0 人		
	木	18 人		
	金	53 人		
アド・すぼ〜つ教室	火	14 人		
	水	7 人		
野球教室	火	10 人		131 人
女子サッカー教室	木	5 人		108 人
硬式テニス教室	木	17 人	446 人	
男子サッカー教室	火	14 人	2,012 人	
	水	31 人		
	木	23 人		
	金	12 人		
水泳教室・カヌー教室			101 人	
ポップピラティス	水	12 人	26 人	
合計		244 人	5,950 人	

資料:小美玉スポーツクラブ

## ■令和元年度 イベントの実施状況

開催日	イベント名	参加者数
5月6日(月・祝)	親子レクリエーション	24 人
6月29日(土)	つくばFC試合観戦	28 人
6月29日(土)	ボルダリング体験会	23 人
7月31日(水)・ 8月28日(水)	カヌー教室	15 人
7月~8月 全5回	夏休みサッカー教室	162 人
12月 全3回	冬休みサッカー教室	72 人
12月 全3回	ゴールキーパー教室	21 人
合計		345 人

※令和2年度、令和3年度は未実施  
資料:小美玉スポーツクラブ

## (7)「小美玉市スポーツ振興基本計画」達成状況調査結果

### 1) 調査の目的

本調査は、「小美玉市スポーツ振興基本計画」の施策がどの程度進められてきたかを検証するために実施しました。

「小美玉市スポーツ振興基本計画」の基本目標1～3の各「基本施策」の「展開方向」ごとに「実施度」「達成度」の状況を担当課で評価するとともに、今回策定した「小美玉市スポーツ推進計画」に、どのように施策を位置付けていくかを判断する「計画への位置付け」についての調査を行いました。

### 2) 調査の実施概要

#### ①調査対象

- ・調査実施対象：スポーツ振興課において調査票を記入

#### ②調査期間

- ・調査実施期間：平成28年10月21日（金）～27日（木）

### 3) 施策の実施状況（実施度・達成度・目標指標の達成度）

基本目標1「生涯スポーツの普及・促進」の実施状況を見ると、「運動・スポーツの普及」は「児童生徒」、「働く世代」に対しての実施度は高いものの、「高齢者」、「障がい者」に対しての実施度はまだ充分ではないことがわかります。

達成度については、目標が令和元年（2019年）であるため、平成28年（2016年）の実績値※で見るとやや低めの数値となっており、目標指標の達成度も達成年度前のため70.0%となっています。

今後は、「障がい者」のスポーツについて、所管課や関係団体と連携しながら取り組む必要があります。

基本目標2「スポーツ団体・指導者の育成」の実施状況を見ると、「スポーツ団体の育成・支援」は実施度・達成度ともに最も高い施策となっています。

一方、「人材の育成・確保」は実施度・達成度ともに低く、取組を強化する必要があります。

なお、目標指標の達成度は68.8%となっています。

基本目標3「スポーツ施設の整備充実」の実施状況を見ると、「スポーツ中核施設」についての施策はある程度進行していますが、達成度は低く、今後も推進していく必要があります。

「身近なスポーツ空間の充実」については、学校施設の活用が順調に進んでいるため、実施度・達成度ともに高い数値となっていますが、民間企業が保有するスポーツ施設については、連携が進んでいない状況であり、課題となっています。

なお、目標指標の達成度は57.5%とやや低めとなっています。

※実績値は調査実施時点のものとなっています。

■「小美玉市スポーツ振興基本計画」施策の実施状況（実施度・達成度・目標指標の達成度）

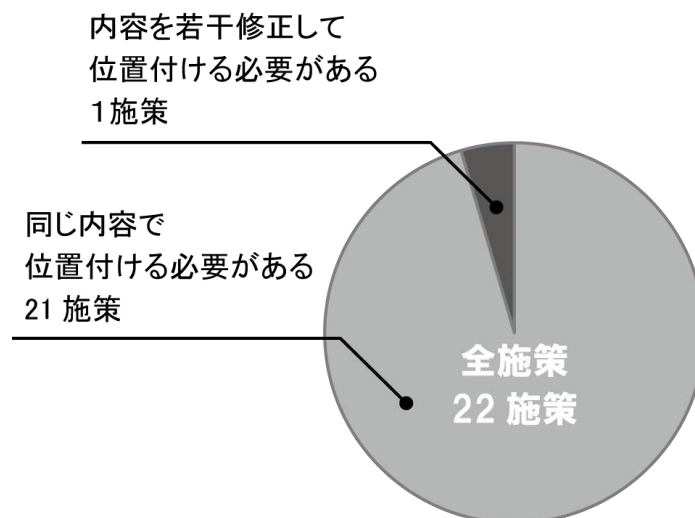
基本目標	基本施策	実施度(%)	達成度(%)	目標指標の達成度(%)
1 ・ 普 生 及 涯 ・ ス 促 進 ポ ー ツ の	1) 児童・生徒に対する運動・スポーツの普及	65.0	57.5	70.0
	2) 働く世代に対する運動・スポーツの普及	70.0	60.0	
	3) 高齢者に対する運動・スポーツの普及	43.3	33.3	
	4) 障がい者に対する運動・スポーツの普及	27.5	20.0	
	基本目標1合計	51.5	42.7	
2 ・ 団 体 の 育 成 ・ 指 導 者 ス ポ ー ツ	1) 地域におけるスポーツ団体の育成・支援	70.0	65.0	68.8
	2) スポーツに関わる人材の育成・確保	45.0	35.0	
	基本目標2合計	57.5	50.0	
3 ・ 施 設 の 充 実 ・ 整 備 ス ポ ー ツ	1) スポーツ中核施設の充実	63.3	43.3	57.5
	2) 身近なスポーツ空間の充実	70.0	60.0	
	基本目標3合計	66.7	51.7	
総計		58.5	48.1	65.4

4)「小美玉市スポーツ推進計画」への位置付け

本計画への反映については、全 22 施策のうち、21 施策が、「同じ内容で位置付ける必要がある」で、残りの 1 施策は「内容を若干修正して位置付ける必要がある」としています。

「内容を若干修正して位置付ける必要がある」1 施策は、「住民主体の新たなスポーツクラブの設立・育成」の項目となっています。

■本計画への反映について



## 5) 「小美玉市スポーツ振興基本計画」の目標指標の達成度評価

基本目標ごとの目標指標の実績値（H28）を見ると、基本目標1では「障がいのある人もない人も交流できるスポーツイベントの開催」が実施され、目標を達成しています。

基本目標2では、「総合型地域スポーツクラブ開設数」で1クラブが設立されています。

また、「スポーツ少年団有資格指導者数」では目標値を上回っており、2つの目標指標が達成されています。

基本目標3では、「主要施設における利用者数」の実績値が低くなっています。

### ■目標指標の達成度評価

基本目標	目標指標	目標指標の考え方	現状値※ (H22)	目標値 (R1)	実績値※ (H28)	達成度 評価 0～100 (%)
1 ・ 生涯 スポーツ の 普及 ・	週1回以上スポーツを実施する成人の割合	・成人におけるスポーツの取り組み状況 ・国・県の政策目標	35.0%	50.0%	35.7%	50.0
	小・中学校体カテスト総合点	・小・中学生の体力の実態 ・全学年が県平均を上回る	全学年県平均以下	全学年県平均以上	小1・2・4・5・6・中1で県平均以上	60.0
	障がいのある人もない人も交流できるスポーツイベントの開催	・障がい者の社会参加の機会 ・持続的な開催を目指す	0回/年	1回/年	1回/年	100.0
	基本目標1指標達成度					70.0
2 ・ スポーツ 団体 ・ 指導者の 育成	総合型地域スポーツクラブ開設数	・地域住民の自主的な取組 ・小美玉市総合計画の施策目標	0クラブ	1クラブ	1クラブ	100.0
	体育協会加盟団体会員数	・成人のスポーツ活動の実態 ・現状会員数の1割増	3,761人	4,100人	3,150人	45.0
	スポーツ少年団団員数	・児童生徒のスポーツ活動の実態 ・現状団員数の維持	878人	900人	485人	30.0
	スポーツ少年団有資格指導者数	・スポーツ活動支援者の活動実態 ・現状指導者数の1割増	92人	100人	102人	100.0
	基本目標2指標達成度					68.8
3 ・ 整備 充実 の 施設	主要施設における利用者数	・主要施設の利便性 ・現状利用者の1割増	136,948人	150,000人	121,575人	45.0
	運動スポーツ施設の満足度	・スポーツ施設機能面の充実度 ・現状満足度の2倍	14.0%	30.0%	20.8%	70.0
	基本目標3指標達成度					57.5
目標指標の達成度						65.4

※現状値…現状値（H22）は前計画策定時点の現状値となっています。

※実績値…実績値（H28）は調査実施時点のものとなっています。

## (8)「小美玉市スポーツ推進計画（改定）」に係るアンケート調査結果まとめ

### 1) 調査の目的

「小美玉市スポーツ推進計画」の見直しにあたり、市内小・中・義務教育学校に通う児童生徒及び市内に居住している 18 歳以上の市民に、本市の運動やスポーツ活動に関する調査を行い、計画改定の基礎資料とすることを目的としアンケートを実施しました。

### 2) 調査の実施概要

#### ①調査対象者

- ・市内に居住している 18 歳以上の市民（男女各 750 名、年代別無作為抽出）
- ・市内小・中・義務教育学校に通う児童生徒（小学 5 年生、中学 2 年生[義務教育学校 8 年生]）

#### ②調査方法

- ・郵送配布・回収
- ・各学校にQR配布・WEBで回収

#### ③調査期間

- ・市民対象：令和 3 年 12 月 1 日(水)～令和 3 年 12 月 17 日(金)
- ・児童生徒対象：令和 3 年 11 月 29 日(月)～令和 3 年 12 月 17 日(金)

#### ④配布・回収状況

対象者	配布数	回収数 (有効回答数)	回収率 (有効回答率)
市内居住している 18 歳以上の市民 1,500 人	1,500	282 (282)	18.8% (18.8%)
市内小・中・義務教育学校の児童生徒 845 人 ・小学 5 年生：425 人 ・中学 2 年生[義務教育学校 8 年生]：420 人	845	646 (646)	76.4% (76.4%)

参考：前回調査（H28年度実施）について

市内居住 18 歳以上の市民 2,000 人 郵送配布・回収（回収数：726、回収率：36.3%、有効回答数：684、有効回答率：34.2%）

市内小・中学校の児童生徒 904 人（各 452 人） 学校を通じて配布・回収（回収数：878、回収率：97.1%※有効回答同一）

#### ⑤調査結果について

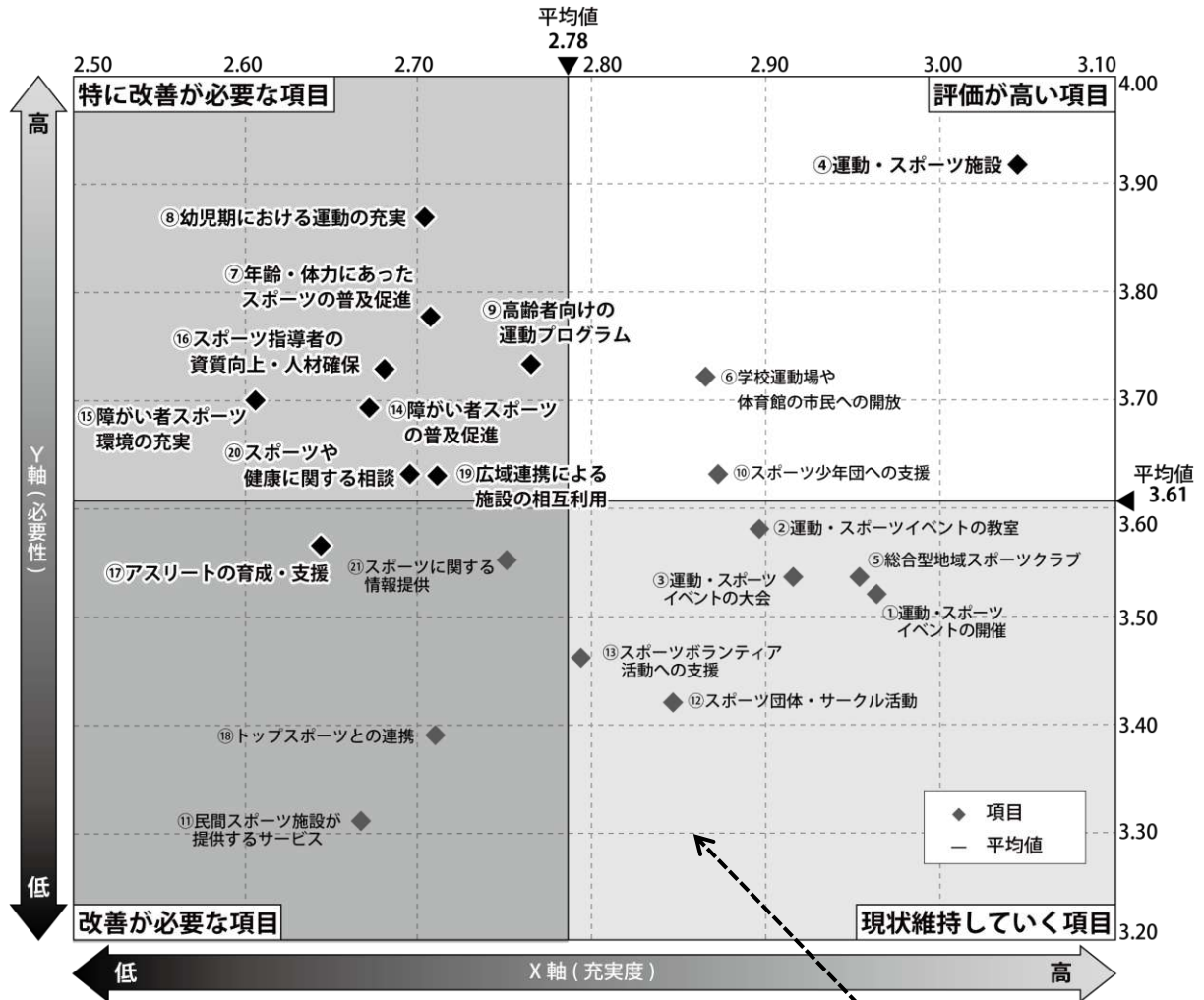
- ・アンケートでは、市民に共通した設問として、小美玉市の運動・スポーツ活動に関する 21 項目についての充実度と必要性を調査しました。その結果のCS分析を次ページ以降に掲載しました。

#### CS分析とは

充実度、必要性の回答を点数化し、充実度を横軸、必要性を縦軸として、点数化した各設問を分布することで、改善する項目と優先順位を明らかにします。

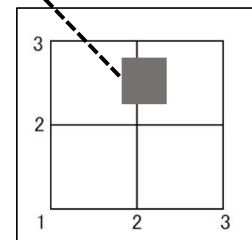
今回の調査結果では、21 項目の充実度・必要性の平均値からグラフを作成し、評価が高い項目、改善項目と優先順位を示しています。

小美玉市のスポーツ振興における充実度・必要性について



■だれもが取り組めるスポーツ活動の充実が求められています

- ・スポーツ振興全般における充実度及び必要性については、全項目の平均値が充実度で2.78、必要性で3.61となっており、充実度の評価が3.00を下回っています。
- ・充実度で見ると、「④運動・スポーツ施設」(充実度3.04)が最も高く、さらに必要性も高くなっており、本市のスポーツ振興全般においての強みとなっています。一方で、「⑮障がい者スポーツ環境の充実」(充実度2.61)、「⑰アスリートの育成・支援」(充実度2.64)の充実度は低くなっています。
- ・特に改善が必要な項目(必要性が高いにもかかわらず充実度が低い項目)としては、「⑦年齢・体力にあったスポーツの普及促進」「⑧幼児期における運動の充実」「⑨高齢者向けの運動プログラム」「⑭障がい者スポーツの普及促進」「⑮障がい者スポーツ環境の充実」「⑯スポーツ指導者の資質向上・人材確保」「⑲広域連携による施設の相互利用」「⑳スポーツや健康に関する相談」が指摘されており、年齢や障がいなどの有無に関わらず、だれもが取り組めるスポーツ活動が求められています。



## (9) 指標の目標値の考え方

基本方針1 子どものスポーツ機会の充実					
指標	実績値		目標値		目標値の考え方
	H28年度	R3年度	R4年度	R9年度	
<b>基本施策1 幼児期における運動・スポーツ機会の充実</b>					
スポーツ教室の開催数	6回	7回	8回	10回	一度で終わる教室だけでなく、継続実施するスポーツ教室や、年齢に応じた様々な教室を実施していくため、当初通り増加を目指す。
未就学児を対象とするプレ・すぽ〜つ教室の延べ参加者数	5,783人	2,963人	6,400人	7,000人	当初(H28)は現況基準で5年毎に10%増を目指す目標とした。コロナの影響等で実績は下がったが、実績回復を目指しながら当初通り増加を目指す。
夢の教室(委託事業)開催校数	12校	全校実施	全校	全校	夢の教室(委託事業)を市内全ての学校で実施することを維持する。
<b>基本施策2 学校体育・スポーツ活動の充実</b>					
体力テストの総合評価が上位(A+B)の児童の割合(小学生)	59.1%	50.5%	60.0%	65.0%	当初(H28)実績では目標値 65%に迫るものであったが、コロナにより児童生徒の体力低下が大きく影響したため、下方修正を行い、毎年1%増加を目指す。
体力テストの総合評価が上位(A+B)の生徒の割合(中学生)	60.1%	58.9%	60.0%	65.0%	
市内運動部活動外部指導員数	16人	22人	20人	25人	学校における働き方改革により、先生方の部活動に関わる時間や日数の制限が厳しくなり、運動部活動の在り方が大きく見直され、外部指導員の必要性が高まっているため、当初通り増加を目指す。
<b>基本施策3 子どもを取り巻くスポーツ環境の充実</b>					
スポーツ教室の実施会場数	7か所	6か所	10か所	16か所	コロナの影響はあるものの、総合型地域スポーツクラブのスポーツ教室(幼児・児童対象)は、多人数を集めて開催する教室、少人数で開催出来る教室を含めて会場が必要となるため、当初通り会場数増加を目指す。
スポーツ少年団の種目数	8種目	9種目	9種目	10種目	新たに休日に地域の方の協力を受けながら行う地域クラブ活動に向けた調整がされており、継続して競技を行える環境を整備していく必要があるため、様々な運動・スポーツを選択し体験できるスポーツ少年団を支援し、当初通り活動種目数の増加を目指す。
<b>基本方針2 生涯スポーツ活動の推進</b>					
指標	実績値		目標値		目標値の考え方
	H28年度	R3年度	R4年度	R9年度	
<b>基本施策1 若者・働く世代に対する運動・スポーツの推進</b>					
若者世代や働く世代を対象にしたスポーツ教室の開催数	5回	未実施	8回	12回	コロナの影響や、仕事が忙しく運動する機会が減っている若者世代を対象とした教室の需要は高まっている為、継続して実施していく教室を含め、当初通り増加を目指す。
成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率	35.7%	—	48.0%	56.0%	当初(H28)は実績 35.7%で、各年2%増を目指す目標とした。コロナによる実施減を考慮しつつも、次回調査時まで各年2%増を目指して取組を進め、実施率増加を目指す。
<b>基本施策2 高齢者に対する運動・スポーツの推進</b>					
健康づくりを目的とした教室の参加者数(延べ)	482人	中止	500人	600人	コロナの影響で、体を動かす場の機会や教室(高齢期別対象)の参加者数が減少したが、生きがいを持て元の生活に戻せるよう、1年間で参加者数20人(5年間で100人)増やすことが出来る教室や講演会を実施していく。



指 標	実績値		目標値		目標値の考え方
	H28年度	R3年度	R4年度	R9年度	
スポーツ活動等の実施回数 (合計)	356回	227回	380回	400回	引き続き老人クラブが開催するスポーツ活動を、5年間で約20回を目標に支援していく。
健康づくりを目的とした 運動教室の開催数	26回/ 年	18回/ 年	26回/ 年	26回/ 年	ヘルスアップ教室などの運動教室は、コロナの流行前には既に目標値を達成していた。引き続き維持していくため、目標値を現状維持とする。
生活習慣病予防を目的とした 教室の開催数	25回/ 年	6回/ 年	6回/ 年	9回/ 年	講座の開催内容の見直したため、目標値を年9回に再設定し、開催数増加を目指す。
各種スポーツ活動の参加者数 (延べ)	1,479 人	1,171 人	1,600 人	1,700 人	老人クラブ連合会の健康づくり事業を引き続き、継続推進していくため、参加者数増加を目指す。
<b>基本施策3 障がい者に対する運動・スポーツの推進</b>					
障がい者スポーツ・レクリエーション教室の開催数	2回	0回	3回	4回	当初(H28)は実績2回で、5年ごとに1回増加を目指すとした。コロナの影響等を受けたものの、実績回復を目指しながら当初通り増加を目指す。
障がい者スポーツ・レクリエーション教室の参加者数	75人	0人	100人	150人	教室1回の平均が37.5名の参加となっており、計4回の開催を目指すため、150人を目標とする。
小美玉スポレクデーの参加者数	4,378 人	中止	5,900 人	7,500 人	当初(H28)実績は4,378人で、毎年5%増を目指すとした。コロナの影響等で実施減となったものの実績回復を目指しながら当初通り増加を目指す。
<b>基本施策4 スポーツ活動情報等の提供</b>					
お友達登録者数(累計)	1,832 人	2,472 人	3,000 人	4,000 人	LINEのみならず、ホームページやSNSを通して様々な情報発信及び享受が出来るようになってきていることから、目標値を下方修正し、4,000人登録を目指す。
小美玉スポーツ新聞の 年間発行回数	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年	市のスポーツの情報発信、周知・PRの観点から、小美玉スポーツ新聞発行(年4回)の維持継続を目指す。

<b>基本方針3 スポーツ環境の充実</b>					
指 標	実績値		目標値		目標値の考え方
	H28年度	R3年度	R4年度	R9年度	
<b>基本施策1 スポーツ活動を支援する体制の整備</b>					
スポーツ協会加盟団体会員数	3,150 人	2,863 人	維持 継続	維持 継続	昨今の社会情勢、少子化等による会員数が減少傾向にある中で、維持継続を目指す。
スポーツ少年団団員数	485人	437人	維持 継続	維持 継続	昨今の社会情勢、少子化等による団員数が減少傾向にある中で、維持継続を目指す。
スポーツ推進委員研修会の 活動回数	2回	2回	3回	4回	市のスポーツ活動の発展のために、スポーツ推進委員の活動は重要であり、最新の情報を得るためにも研修会は重要であるため、当初通り増加を目指す。
スポーツボランティア活動数	—	—	50人	50人	スポーツイベント等を実施していく上でボランティアの存在は重要であり、現在、行政区やスポーツ団体よりボランティアで活動をしていただいている。実情に合わせ、下方修正し、引き続き活動いただける安定した人数である50人を目指す。
市内における総合型地域スポーツクラブ会員数の割合	0.62% (市人口: 50,911人)	0.59% (市人口: 39,039人)	1.0% (市人口: 49,455人)	1.5% (市人口: 48,416人)	会員数について、5年ごとに約0.5%増を目指す。(市人口における割合)
総合型地域スポーツクラブ数	1クラブ	1クラブ	2クラブ	2クラブ	当初(H28)は中学校区ごとに総合型地域スポーツクラブを開設することを目標としていたが、実情に合わせ、市全体として、新規の総合型地域スポーツクラブ開設を目指す。

指 標	実績値		目標値		目標値の考え方
	H28年度	R3年度	R4年度	R9年度	
<b>基本施策2 特色あるスポーツ施策の推進</b>					
スポーツ優秀選手・団体表彰数	団体： 9団体 個人： 26人	団体： 8団体 個人： 10人	団体： 12団体 個人： 30人	団体： 15団体 個人： 40人	社会情勢や少子化等により団体数等が減少しているものの、地域クラブ活動が始まることや、廃校となった体育館の再整備、公共施設として跡地を利用出来るようになっており、今までより活動場所の提供が広く出来ることから、当初通り増加を目指す。
地域特性を生かしたスポーツ活動の開催数	—	—	1回	2回	地域特性を活かしたスポーツイベントについては、当初(H28)は5年後に開催、その後1回増の開催を目指すとした。スポーツ振興のみならず観光の面からも重要であることから、今後も2回の開催を目指す。
<b>基本施策3 多様なスポーツ交流の推進</b>					
トップアスリートスポーツ教室の開催数	4回	0回	5回	5回	コロナの影響から、今までと同じ開催方法に戻していくためには、考えられる様々な問題を解決する必要がある。市スポーツ振興のためには重要な取組であるため、目標値を5回に再設定し、着実に実施していくことを目指す。
小美玉スポレクデーの参加者数	4,378人	中止	5,900人	7,500人	当初(H28)実績は4,378人で、毎年5%増を目指すとした。コロナの影響等で実施減となったものの実績回復を目指すしながら当初通り増加を目指す。(再掲)
スポーツ大会等誘致数	—	—	1回	2回	当初(H28)レベルの高いスポーツ大会等の誘致を目指し、5年後に開催、その後1回増の開催を目指すとした。今後もする、みるスポーツの観点から大会誘致を進め、2回の開催を目指す。
スポーツ大会の誘致に合わせた観光イベントの開催数	—	—	1回	2回	スポーツ大会等に合わせて、観光等と連携したイベントの開催を目指す。当初(H28)は5年後に開催、その後1回増の開催を目指すとした。観光面からも重要であることから、今後も大会と合わせて2回の開催を目指す。

<b>基本方針4 スポーツ施設の充実</b>					
指 標	実績値		目標値		目標値の考え方
	H28年度	R3年度	R4年度	R9年度	
<b>基本施策1 スポーツ施設環境の充実</b>					
スポーツ施設利用者数 (年間延べ)	173,900人	151,924人	207,600人	240,700人	コロナの影響により施設利用者が大幅に減ったものの、広域利用協定の拡大や、地域クラブ活動が実施されていくことから、当初通り、利用者増加を目指す。

※今回改定にあたり、指標を一部削除している。

※目標値を含め、次期計画策定時において十分に検証し、見直しを図るものとする。